

モノ を作る

農業体験や林業体験、機織りや木材加工など、地場産業や地域文化の体験を通じて中山間地域の現状を学びます。



まちづくり を考える



商会議所、青年会議所等の関係者の講話や観光業体験、地域イベント等に参加し、まちおこし、むらおこしについて考えます。

土砂災害 にふれる

過去に起こった災害現場視察や砂防工事の実習を行い、日頃机上では学べない現場作業などを行います。



山の鼓動 を感じる

崩壊地を歩き、植生を知り、川の流れを感じ、自然と人々との関わりを実体験することによって、そこに住む人々の生活を知ります。また、村の古老の災害体験談を通じて土砂災害の危険性を学びます。



キャンプ砂防とは

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質等により土砂災害を受けやすい自然条件下にあります。さらに、近年中山間地域では、過疎化、高齢化に伴い森林管理の衰退や耕作放棄地の増加などにより荒廃が進んでおり、土砂災害の発生等大きな社会問題となっております。一方、このような中山間地域においては、活力ある地域づくりのために各地域の個性を活かした様々な取り組みがなされています。

このような中山間地域の現状を実際に体験できる場を全国の学生に提供し、地域の抱える問題点、活性化の支援のあり方、防災対策のあり方を学び、中山間地域における砂防の意義・役割を考えることを目的として、平成8年度より「キャンプ砂防」が実施されています。

◆キャンプ砂防運営委員会 / 【事務局】国土交通省砂防部砂防計画課 地震・火山砂防室
〒100-8918 東京都千代田区霞ヶ関 2-1-3 TEL 03-5253-8468 (直通) FAX 03-5253-1610

◆キャンプ砂防推進協議会 / 【運営担当】NPO法人砂 土砂災害防止広報センター
〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲 4-11 TEL 03-5614-1114 (代表) FAX 03-5614-1109

<http://www.spchp.com/camp-sabo2015/index.html>

『キャンプ砂防』参加者の声

群馬県の自然の豊かさを改めて感じるとともに、そこで暮らす人々と砂防事業の必要性を感じることができた。

砂防事業は、私たちの目に触れにくい箇所で行われていて、静かに大きく構え下流や周辺地域の安全を見守ってくれている、そんなイメージを持った。

たくさんの砂防の現場を見て、1つの現場に多くの方が関わり、一人一人が「工事の完成」という目標に向かい、決めごとを守り正確な作業を行っていて感心した。

(弘前大学 農学生命科学部 3年・女性)

数多くの現場に足を運び、実際に自分の目で見て砂防に関する技術を肌で感じることができたと思います。

実際に現場に足を運ぶと砂防堰堤の工事現場では大学の講義にてよく使われる専門的な知識が実際に活用されており、講義中にはただ単にそういった単語があるというだけで何のイメージもできていませんでした。

こういったことを実感したことで土木分野の砂防という学問に興味を持つことができました。

(日本大学 理工学部 3年・男性)

現場で、実際の作業を見学したり体験したりする事で、今まで以上に砂防について知ることができました。

地域の方に話を聞いたり、教えて頂いた内容を考えた結果、地域内外の人に行っている砂防事業の意味や価値を伝える事が重要だと感じました。

緊急調査訓練では、広島災害の体験を教えながら作業の具体的な意味を学びました。

4日間のキャンプ砂防で深く砂防について触れる事で進路について考える機会となりました。

(静岡大学院 森林防災専攻 1年・男性)